

大泉会長あいさつ

デモ行進、大変ご苦労様でした。

本日は、後程ごあいさつをいただきますが、連合本部の安永副事務局長においでいただき、デモ行進から参加いただきました。御礼を申し上げます。

さて、来週水曜日3月11日で、東日本大震災から丸4年になりますが、円安や東京オリンピック、消費税増税の影響で、資材価格や人件費の高騰、人材不足があり、入札が不調となる工事も少なくなく、被災地の復旧・復興のスピードは思うように上がっていません。山形県内には依然として4000人を超える避難者の皆さんがおり、引き続き、様々な形で、被災地や避難者への支援を行っていく必要があります。

いよいよ春闘本番となりました。春闘が始まって60年目、節目の春闘です。

昨年の春闘は、久しぶりにベースアップ要求を掲げ、連合全体としてはベースアップを獲得し、一時金の引き上げも勝ち取ることができました。民間賃金が高くなることによって、公務員の月例賃金、一時金の引き上げを勝ち取ることができました。民間労組と官公労が一体となって闘った結果であり、この流れを今年の春闘に引き継ぎ、昨年以上のベースアップ、月例賃金の引き上げを勝ち取っていかねばなりません。

今年は、3月18日が大手の集中回答日となりますが、組合員の賃上げに対する期待は昨年以上に高まっています。昨年のいい流れを引き継いで、地方から中央に向けて、昨年を上回る月例賃金の引き上げ、ベースアップを勝ち取るぞという気合、組合員の期待・思いを届けていく必要があります。

今年の春闘について、特にマスコミの皆さんが注目しているのは、第一に中小における賃上げがどの程度になるか、第二に、非正規労働者の賃上げと待遇改善がどう図られるのか、という二点であります。連合と構成組織は、組合員、未組織の労働者、非正規労働者、すべての労働者の期待に応える社会的責任を果たしていかなければなりません。

賃上げによって働くもののモチベーションを高め、企業の生産性をより向上させて、競争力を高め企業収益を上げていく、という好循環を作っていく必要があります。経営者にも社会的責任を果たすように求めていくことが必要です。中小

企業の経営には依然として厳しい実態がありますが、古賀会長は、デフレ脱却を図るために、企業は企業収益のみにこだわるのではなく、デフレ脱却に向けて、経済の好循環を実現するために、無理をしてでも賃上げをする必要があると繰り返し訴えています。中小労組は厳しい労使交渉の実態にありますが、産別の力、中小共闘の力、連合全体の力を借りつつも、他力本願ではなく自力で、自前で賃上げを勝ち取っていくぞという気合と決意が求められています。

春闘二つ目の課題は、労働時間短縮、不払い残業撲滅、年休取得促進の取り組みです。昨年から、ブラック企業、ブラック職場が社会的問題として取り上げられるようになりました。さすがの安倍政権もブラック企業を問題にせざるを得なくなり、厚生労働省や山形労働局においても、「働き方改革推進本部」を作って、職場改善に向けた取り組みを始めました。

人間らしい働き方、誇りの持てる仕事、職場、そして社会を作っていく。職場の仲間のコミュニケーションを良くして、仲間を大切にする、一人一人の人間を大切にする職場、地域、社会を作っていく。そのために、各単組において、職場点検をしっかりとって、労働時間短縮、不払い残業撲滅、年休取得促進を実現することが必要です。ブラック企業を容認する、残業代ゼロ法案も何としても阻止しなければなりません。

連合山形は、昨年以上の賃上げを勝ちとるために、山形県は、99.9%が中小企業、小規模企業ですので、中小企業での賃上げを勝ち取るために、県内を各地域協議会でたすきをリレーする、県内キャラバン行動を実施することにしました。3月16日に山形市をスタートします。県民世論に訴えながら、何としても昨年を上回る賃上げ、大手企業や大都市との格差を縮める賃上げを勝ち取っていきたいと思います。

すべては要求書提出からです。できること、あらゆる取り組みを強め、2015春闘勝利に向けて、ともにがんばりましょう。

次に、今年の統一自治体選挙は、県議選が4月3日告示、12日投票、市議・町議選が4月19日告示、26日投票となります。連合山形は、国政を変えるためのステップの選挙と位置付け、県議選では8名の予定候補を推薦し、市議・町議選では25名の推薦を決定しました。一人の取りこぼしもなく、全員の当選をめざし、本日からアクセルを全開にして取り組んでいかなければなりません。

地方から国政を変えるための極めて重要な選挙です。山形県を発展させるために、自らの生活を守るために、連合山形推薦候補の全員当選をめざし、予定候補者と一体となって、全力で戦いましょう。よろしく願い申し上げます。